

みなさん、こんにちは。島根大学男女共同参画推進WGです。
今号では、島根大学で男女共同参画を推進するにあたっての、
学長からのメッセージをお届けいたします。

男女共同参画社会の形成に向けて

島根大学学長 本田 雄一

「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と私生活の共存）の重要性が社会的に認識されつつある。仕事が全てという生き方は家庭生活を破壊するだけでなく、本人の過労死をもたらす危険性も孕んでいる。

そのような生き方を転換し、家事、育児等の責任を等しく家族と分かち合い、家庭での生活を楽しむことは、仕事にも良い効果をもたらすものと思う。また、家事、育児の全責任を負わされ、家庭に縛られがちであった女性の社会への参画を促すことにもなる。

日本国憲法は男女の平等を規定し、性別による差別的扱いを禁じている。男女が互いの人権を尊重し、協力し合うことは、男性と女性からなる人間社会にあっては当然のことである。

とりわけ、少子高齢化によって人口減少が進行するわが国にとって、男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することが出来る男女共同参画社会を実現することは最重要課題である。

人権尊重を掲げる島根大学は、全ての教職員が「ワーク・ライフ・バランス」を実践し、豊かな人生を享受出来るよう、男女共同参画社会の形成に取り組む考えである。

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

までお願いします。

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者のかたにしか届かない設定がされているところがあるようです。

そのような設定の講座等におかれましては、代表のかたが講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。

また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。
